

# 瀬戸焼

受け継がれる千年の技と美

2021 2/7 [日] - 3/21 [日]

## I 瀬戸焼のはじまりと展開



灰釉縄手付瓶  
【重要有形民俗文化財】  
平安時代(11世紀中期)



## II 瀬戸焼の多様化

馬の目皿  
【重要有形民俗文化財】  
江戸時代(19世紀前期)

## III 職人から陶芸作家へ



黄瀬戸輪花鉢  
加藤唐九郎  
昭和35年(1960)

## IV 産業化と受け継がれる技



アン王女  
テーカー名古屋人形製陶株式会社  
平成3年(1991)

## V 磁器生産の開始と海外への進出



青地上絵金彩陽刻鷹図耳付花瓶(一対)  
六代川本半助・濤川惣助  
明治時代(19世紀後期)

愛知県瀬戸市は、千年余りのやきものの歴史と伝統を有するとともに、陶器と磁器を生産する窯業地として、日本のやきもの界をリードしてきました。本展では瀬戸蔵ミュージアムと瀬戸市美術館が所蔵する1万点以上の作品群から選りすぐった作品を、章ごとのテーマに沿って展示します。

I章では、平安時代に登場した「灰釉陶器」から、「古瀬戸」、茶の湯文化への欲求に応えた室町・桃山時代の大窯による作品群をご覧いただけます。II章では、江戸時代・尾張藩の保護下で生産された名工による一品物から、近世における瀬戸焼の多様化をご紹介します。III章では、瀬戸窯業界に一層の進展をもたらした磁器生産の初期の作品から、海外で高い評価を得た豪華絢爛な作品を通して、近代化の歩みをたどります。IV章では、大正末から昭和中期までの個人作家の作品を通じ、陶工から個人作家への意識変容をもたらした瀬戸焼の新たな方向性をご紹介します。V章では、千年の歴史の中で培ってきた技術と美的センスが産業面でも花開いた製品群をご紹介します。

平安より現代まで受け継がれている瀬戸焼の技と美をご堪能ください。

### 関連イベント

#### 陶芸・絵付け体験

日時=令和3年2月14日(日)10:00~12:00  
定員・対象=先着15名(陶芸・絵付け合わせて 保護者等同伴者含む)  
小学生以上(小学校3年生以下は保護者同伴)  
場所=セラミックアートセンター教室工房  
受講料=陶芸体験700円 絵付け体験800円  
講師=当センター陶芸指導員

#### チャレンジ電動ロクロ体験

日時=令和3年2月21日(日)10:00~13:00  
定員・対象=先着4名  
小学校4年生以上(小学生は保護者同伴)  
受講料=1,000円  
場所=セラミックアートセンターレンタル工房  
講師=当センター陶芸指導員

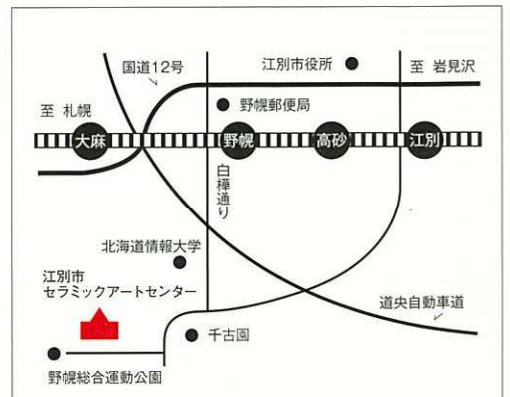
#### ミニカブト作り体験 ~こどもの日を楽しもう~

日時=令和3年3月14日(日)10:00~12:00  
定員・対象=先着15名(保護者等同伴者含む)  
小学生以上(小学校3年生以下は保護者同伴)  
受講料=700円  
場所=セラミックアートセンター教室工房  
講師=当センター陶芸指導員

#### 金継体験 ~よみがえれ!金継チャレンジ教室~

日時=令和3年2月7日(日)10:00~16:00  
定員・対象=5名 一般  
受講料=1,500円  
場所=セラミックアートセンター教室工房  
講師=当センター陶芸指導員

イベント参加には、事前の電話予約が必要です。  
イベントの申し込み・問合せ011-385-1004



### 江別市セラミックアートセンター

〒069-0832 北海道江別市西野幌114番地5 TEL 011-385-1004 FAX 011-385-1000  
http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/ceramic/



交通案内

○バスで | JR野幌駅からJRバス「野幌総合運動公園行」もしくは「北広島駅行」乗車、「セラミックアートセンター前」下車。所要時間約10分。  
○お車で | 札幌・岩見沢から国道12号利用の場合、約40分。駐車無料。